

令和4年度の自給飼料分析について

～硝酸態窒素濃度の測定のみ実施します～

- 昨年度に引き続き、硝酸態窒素濃度の測定を実施します。
- 今年度は受付期間を設けず、随時受付することとしました。
- 牛の異状の有無により、申込先・検査機関・検査方法が異なりますので御理解、御協力をお願いいたします。

たい肥の施用量が多いほ場で生産されたものや、若刈りをしたものの、乾草での利用は、硝酸態窒素が高濃度になる傾向があります。

■対象飼料 県内の乳用牛・肉用牛飼養農家が生産した自給粗飼料

■分析項目 硝酸態窒素濃度、乾物率

■受付時期 随時

■申込先・検査機関

牛の異状の有無により、該当の申込先に御連絡ください。



牛の異状あり

- ・申込先 川越家畜保健衛生所
(病性鑑定として対応)
- ・検査機関 中央家畜保健衛生所 病性鑑定担当
- ・検査方法 精密検査
(液体クロマトグラフィーによる測定)

牛の異状なし

- ・申込先 管轄の農林振興センター農業支援部
- ・検査機関 管轄の農林振興センター農業支援部
- ・検査方法 簡易検査
(メルコquant試験紙等で測定)

お問合せ:川越家畜保健衛生所 畜産支援・安全対策担当

TEL 049-225-4141